

文部科学省 令和4年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

”晴れの舞台”で働く体験から学び、「社会生活力」を身につける
生涯学習プログラムを地域連携により拡大促進し、社会参画へとつなげていく実践研究

プログラム実施報告書



令和4年3月10日 NPO法人ピープルデザイン研究所

神奈川県川崎市における プログラム実施報告

令和4年4月6日 – 令和5年3月10日

実施期間 : **令和4年4月6日 - 令和5年2月17日 (仮)**

(事業対象期間は6月9日から)

実施自治体 : **川崎市**

実施企画数 : **39企画** (事業対象企画数は30企画)

就労体験参加人数 : **150名** (事業対象参加人数は126名)

参加事業所 : **23事業所**

内訳 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎
 社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ
 社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター
 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団KFJ多摩はなみずき
 川崎市障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課
 社会福祉法人育桜福祉会 しらかし園
 社会福祉法人育桜福祉会 わかたけ作業所
 株式会社Cocorport Cocorport武蔵小杉office
 社会福祉法人 青い鳥 川崎南部就労援助センター
 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園
 株式会社チャレンジドジャパン 川崎センター
 株式会社Enn-Lab.自立訓練事業所エンラボカレッジ川崎
 川崎市麻生区役所地域まもり支援センター 高齢・障害課 精神保健係
 川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当
 川崎若者就労・生活自立支援センター プリュック
 川崎市指定 就労移行支援、就労継続支援B型事業所
 自立訓練 (生活訓練) Job Support Bluebee
 就労移行支援アクセスジョブ川崎
 社会福祉法人三篠会 川崎ラクシル 南部日中活動センター
 公益財団法人神奈川県社会復帰支援会 就労移行支援センターかわさき@Job
 一般社団法人ルミノールズルミノールズ川崎登戸
 ウェルビー株式会社 ウェルビー溝の口駅前センター
 医療法人社団 聖真会 きしろメンタルクリニック ショートステイ ぶどうの樹

参加企業 : **6社**

内訳 株式会社川崎フロンターレ (Jリーグ 川崎フロンターレ)
 株式会社DeNA川崎ブレブサンダース (Bリーグ 川崎ブレブサンダース)
 農業生産法人 株式会社カルナエスト
 株式会社ショーンキャプチャー
 学校法人和光大学地域連携研究センター
 企業応援センターかわさき

企業研修 : **10名**

内訳 株式会社横浜銀行 東京海上日動株式会社

	日付	タイトル	就労体験者
1	4月6日	川崎ブレブサンダース就労体験	1
2	4月9日	川崎フロンターレ就労体験	1
3	4月27日	川崎ブレブサンダース就労体験	6
4	4月28日	川崎ブレブサンダース就労体験	6
5	5月13日	カエナエスト就労体験	2
6	5月14日	川崎フロンターレ就労体験	2
7	5月25日	川崎フロンターレ就労体験	2
8	5月27日	カエナエスト就労体験	3
9	5月28日	川崎フロンターレ就労体験	2
10	6月17日	カエナエスト就労体験	2
11	6月18日	川崎フロンターレ就労体験	2
12	6月25日	川崎フロンターレ就労体験	5
13	7月9日	川崎フロンターレ就労体験	3
14	7月22日	カルナエスト就労体験	2
15	7月23日	川崎フロンターレ就労体験	3
16	8月30日	川崎ブレブサンダース就労体験	6
17	8月31日	川崎フロンターレ就労体験	4
18	9月10日	川崎フロンターレ就労体験	3
19	9月30日	カエナエスト就労体験	1
20	10月8日	川崎フロンターレ就労体験	2
21	10月12日	川崎フロンターレ就労体験	5
22	10月21日	川崎ブレブサンダース就労体験	7
23	10月21日	カエナエスト就労体験	1
24	10月22日	川崎ブレブサンダース就労体験	5
25	10月23日	日高祭25就労体験	3
26	10月29日	川崎フロンターレ就労体験	4
27	11月4日	カルナエスト就労体験	3
28	11月20日	2022多摩川マラソン就労体験	3
29	11月30日	川崎ブレブサンダース就労体験	11
30	12月5日	川崎ブレブサンダース就労体験	4
31	12月9日	カルナエスト就労体験	3
32	12月16日	川崎ブレブサンダース就労体験	8
33	1月18日	川崎ブレブサンダース就労体験	11
34	1月20日	カエナエスト就労体験	2
35	1月21日	川崎ブレブサンダース就労体験	4
36	2月9日	川崎ブレブサンダース就労体験	6
37	2月10日	川崎ブレブサンダース就労体験	5
38	2月11日	川崎ブレブサンダース就労体験	4
39	2月17日	川崎フロンターレ就労体験	1
40	2月28日	川崎市文化財団就労体験	2
2022年度就労体験 合計人数			150



12/6 VISAカードゴールド会員向け会報誌



NPO団体
NPO法人ピープルデザイン研究所を取材しました！

- カテゴリ
- 全て
- デジタル活用支援員
- 取材記事
- 地域活動団体
- NPO団体
- ハチコウ大学講座
- アフターレポート
- 知的障がい者教室

NPO法人ピープルデザイン研究所を取材しました！

ピープルデザイン研究所とは
"心のバリアフリー"をクリエイティブに実現する「ピープルデザイン」を提唱。ダイバーシティ/インクルージョンなまちづくりを推進し、街と人をデザインするNPO法人。（詳しくは[こちら](#)）
今回は事務所を訪れ、代表理事の田中真宏さんにお話を伺いました。

【代表理事 田中真宏さん】



※取材時は、マスク着用、換気、身体的距離の確保を徹底し、感染対策を行いました。撮影時のみ、マスクを外して撮影しました。

店舗の取り組みについて

1/19 しぶかつ取材

4月6日、27日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、4月6日、27日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ15人（体験者：7人、施設職員：5人、見学者：3人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年4月6日(水)、27日(水)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：15人（体験者：7人、施設職員：5人、見学者：3人）
体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：ロビーや客席、選手のロッカールームの消毒・清掃
屋外用案内ボードの貼り替え
加湿器の水入れ（バケツで運搬）

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（公益財団法人神奈川県社会復帰援護会 就労移行支援センターかわさき@Job、川崎市麻生区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健支所）保護課、川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、社会福祉法人川崎市社会福祉事業団川崎市ふじみ園、株式会社チャレンジドジャパン川崎センター、川崎市障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課）

会場来場者数：3,374人（4/6は試合開催中止のため来場者なし）

体験者／支援者感想

- ・外出の大切さを学んだ。就労体験参加をきっかけに外に出るようになった。（30代／ひきこもりの方）
- ・体験を通じて社会に触れるため参加した。社会のコミュニティが円滑になるようにすることの大切さを学んだ。服装などを気にかけることが増えた。（20代／ひきこもりの方）
- ・挨拶などの最低限のマナーは必要だと感じた。（30代／ひきこもりの方）
- ・ひきこもりから次の一歩を踏み出す準備、練習のため参加した。（30代男性／施設職員）
- ・以前していた仕事との比較ができる。（40代女性／施設職員）



4月9日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、4月9日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々、述べ4人（体験者：1人、施設職員：2人、見学者：1人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年4月9日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：4人（体験者：1人、施設職員：2人、見学者：1人）

体験者属性：ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：スタジアム内の手すりや座席の消毒・清掃
選手のベンチシートの消毒

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当）

会場来場者数：17,471人

体験者／支援者感想

- ・時間配分と休憩時間を考えることを学んだ。もう少しコミュニケーションをとるようにしようと思った。（30代／ひきこもりの方）
- ・チームワーク、体を動かす働き方への学びがあったと思った。（20代女性／施設職員）
- ・対面での緊張があるため、人に慣れてほしいと思い参加した。就労体験を通して、利用者さんの就労に対する意欲を感じ取れた。当事者の方とコミュニケーションをとりながら、分かち合えてよかった。（40代女性／施設職員）



5月14日、25日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、5月14日、25日に実施。市内の知的・発達・精神障害者の方々、述べ7人（体験者：4人、施設職員：3人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年5月14日(土)、25日(水)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：7人（体験者：4人、施設職員：3人）

体験者属性：知的・発達・精神障害者

ボランティアスタッフの人数：0人

**業務内容：スタジアム内の手すりや座席の消毒・清掃
選手のベンチシートの消毒**

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

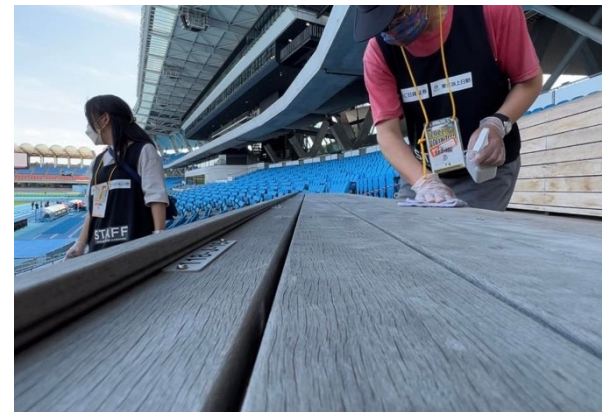
参加事業所：2事業所

（社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター、
社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ）

会場来場者数：30,772人（5/14 16,704人、5/25 14,068人）

体験者／支援者感想

- ・長く休んでいたもので、自信をつけるため参加した。何かすることがあることは良いことだと思った。人とのコミュニケーションを学んだ。（40代／精神障害者）
- ・イベントの仕事がどんな作業なのかわることができた。どんな小さなこと（仕事、作業）も大切なんだと感じた。（30代／精神障害者）
- ・一般の人が入場できない箇所のそうじをしたことが良かった。裏方の仕事自分が自分には合っているかなと思った。私たちが消毒した椅子や机で川崎フロンターレを応援することを考えると嬉しくなった。（50代／精神障害者）
- ・テキパキ動くこと、時間を守ることが大切だと気づいた。試合前の会場には入ってどういうことをやるか分かった。（40代／知的障害者）
- ・就労経験がほぼない方なので、社会参加と指示理解のアセスメントとして参加した。初対面の方との共同作業を体験することができた。湿度が高く、蒸し暑い天候だったが、適宜休憩を取っていただいたので、最後まで作業することができた。（30代男性／施設職員）
- ・在宅（未就労）期間が長いので、外に出て活動を始めるきっかけづくりのため参加した。初対面の人とのコミュニケーションや未体験の作業への取り組み、積極性が学べると感じた。（40代男性／施設職員）
- ・就労体験に参加できたことで、朝起きて2度寝をせずに事業所に通うことができ始めている。拭き掃除が丁寧に来ていたことで他の施設外実習にも参加できることを伝え、本人のモチベーションを上げ「休まず来る」きっかけになればと思う。（40代女性／施設職員）



5月28日 等々力サッカーフェスタ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎フロンターレが2007年より公益財団法人川崎市公園緑地協会と協力して開催している「等々力サッカーフェスタ」にて、5月28日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ4人（体験者：2人、施設職員：2人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年5月28日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：4人（体験者：2人、施設職員：2人）

体験者属性：ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：受付案内

来場者へのご挨拶

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当）

会場来場者数：約3000人

体験者／支援者感想

- ・あいさつの大切さを学んだ。（20代／ひきこもりの方）
- ・面接の場で会うイメージと体験の場では印象が違った。本人の困り感が働中で現れていたように思えたので、本人もそこに気づけたと思う。人と接する機会がないひきこもりの人が対人交流の場面を設けてもらうことに大きな意味があると思う。（30代男性／施設職員）
- ・外の世界に慣れていただくことを目的に参加した。就労体験ではひきこもりという立場、フィルターなしでの人との接触体験ができると感じた。（50代女性／施設職員）



6月18日 川崎フロンターレ就労体験 北海道コンサドーレ札幌コラボレーション企画

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。「北海道ピープルデザインワーク札幌2030実行委員会」として、北海道で就労体験を実施するJリーグ北海道コンサドーレ札幌様が、フロンパークにて開催される「第1回かわさきSDGsランド」のブースにて6月18日にコラボレーション企画として実施。ひきこもりの方々、述べ4人（体験者：2人、施設職員：2人）が参加し、ブース運営のスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年6月18日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：4人（体験者：2人、施設職員：2人）

体験者属性：ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：ブース運営

北海道内の福祉事業所の自主製品の販売業務（会計対応あり）

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当）

会場来場者数：18,960人

体験者／支援者感想

- ・新しい作業内容だったので参加した。接客での声を出す難しさを感じたが、やっているうちに多少声が出るようになった。（30代／ひきこもりの方）
- ・販売業務ができるのとことで興味を持たれていたため参加した。初めての経験ができたことで、向き・不向きを知ることができたと思う。また挑戦する場があることが重要だと支援者としても感じた。（30代女性／施設職員）
- ・物品の販売は初めてだったので、各々に個別の気づきがあったと思う。販売の手伝いは、声を出したり、対人スキルが必要になるので、とても良い経験になったと思う。就労体験に参加することが恒例になっていて、利用者に喜ばれている。（50代女性／施設職員）



6月25日

川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、6月25日に実施。市内の精神・高次脳機能障害者、ひきこもりの方々、述べ8人（体験者：5人、施設職員：3人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年6月25日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：8人（体験者：5人、施設職員：3人）

体験者属性：精神・高次脳機能障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：スタジアム内の手すりや座席の消毒・清掃
スタンド内でのお客様のゴミ回収

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

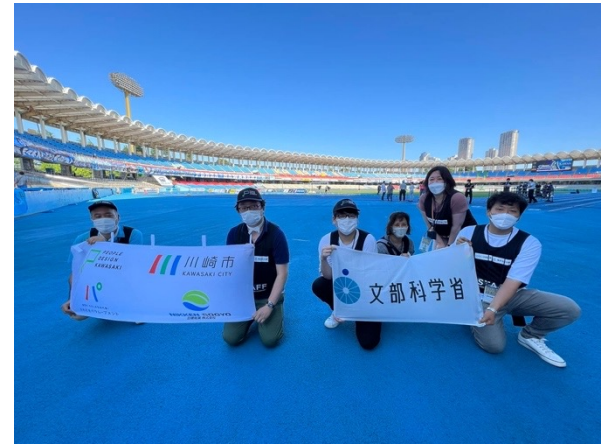
参加事業所：2事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター）

会場来場者数：19,024人

体験者／支援者感想

- ・初参加のときはアリーナだったが、今回はスタジアムには入れるので参加した。分からないことは積極的に聞くべきだと思った。目的意識の共有が大切だと思った。（30代/ひきこもりの方）
- ・たくさんの人が集まり、働いていることの楽しさに触れることができた。社会と自分がより近いものとして考えることが少しだけできるようになった。（20代/ひきこもりの方）
- ・就労に向けて体力をつけたり、自信をつけるため参加した。コミュニケーションの難しさを学んだ。参加する前は自分からあいさつできていなかったと気づいた。（40代/精神障害者）
- ・こういう就労もあるのかと思った。（40代/高次脳機能障害者）
- ・体力と他の参加者の方へのコミュニケーションを学ぶことができたと思う。（40代男性/施設職員）
- ・生活サイクルを自己コントロールできることを自身で体験し、自信をつけてほしいと思い参加した。自分がどれだけ動けるかの確認、及び、人が多い中で大丈夫なのか確認できたと思う。（40代女性/施設職員）
- ・色々な経験を積んでほしく、成功体験の一つとして体験してほしいため参加した。知らない人でもしっかり声かけができていた。（20代女性/施設職員）



7月9日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、7月9日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ9人（体験者：3人、施設職員：1人、企業研修：5人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

また、川崎フロンターレ就労体験の sponsor である SMBC 日建証券様から企業研修として5人が参加し、体験者の方々と交流を図っていただいた。

実施日：2022年7月9日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：9人（体験者：3人、施設職員：1人、企業研修：5人）

体験者属性：ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：来場者へのプログラムの配布業務

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当）

会場来場者数：18,466人

体験者／支援者感想

- ・声を大きく出せるようになりました。コミュニケーションの大切さを学べた。（30代／ひきこもりの方）
- ・対人の業務でしたが、意外と平気だった。（30代／ひきこもりの方）
- ・一歩ずつ前に進めているような感じがする。（20代／ひきこもりの方）



7月23日 川崎フロンターレ「2022ファン感謝デー」就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場での「2022ファン感謝デー」にて、7月23日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ4人（体験者：3人、施設職員：1人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年7月23日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：4人（体験者：3人、施設職員：1人）

体験者属性：知的障害者

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：スタンプラリーのスタンプ押し

スタンプラリーゴールブースでのオリジナルトレカのプレゼント

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 KFJ多摩はなみずき）

会場来場者数：約10,000人

体験者／支援者感想

- ・施設職員以外の方の指示に対して、普段通り働くことができてよかった。（施設職員）
- ・お客さんがたくさん来た時でも、慌てずに、スタンプを押すことができてよかった。（40代/知的障害者の方）
- ・施設の職員の方がない時でも、仕事をしっかり行うことができた。（40代/知的障害者の方）



8月30日

川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のイベント「はじめしゃちょー & 川崎ブレイブサンダース presents DREAM GAME 2022」にて、8月30日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ10人（体験者：6人、施設職員：4人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年8月30日(火)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：10人（体験者：6人、施設職員：4人）

体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

業務内容：ロビーや客席、選手のロッカールームの消毒・清掃

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（就労移行支援アクセスジョブ川崎

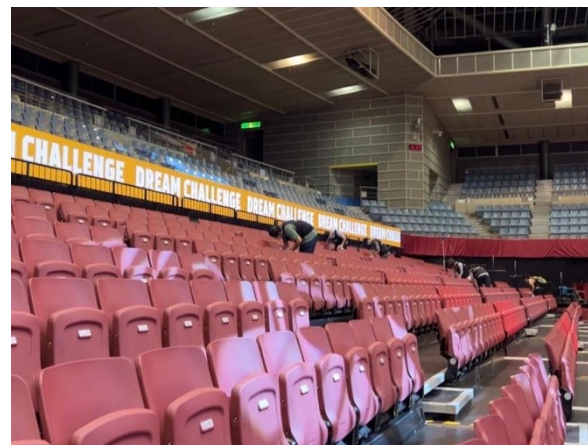
川崎市指定 就労移行支援、就労継続支援B型事業所

自立訓練（生活訓練）Job Support Bluebee）

会場来場者数：3,374人

体験者／支援者感想

- ・コミュニケーションの取り方を学んだ。仕事ではメモをもっと取ったほうが良いとわかった。
- ・はじめしゃちょー（イベントゲスト）に会えたので、参加できてよかった。（10代／知的障害者）
- ・椅子拭きが楽しかった。人の話を聞くことが大切だと思った。（30代／身体（聴覚）・知的障害者）
- ・自分を確かめる、挑戦、できることを増やすために参加した。感染予防の仕事、消毒作業の大切さがわかった。はじめしゃちょーに会えてビックリした。（10代／知的障害者）
- ・施設内ほど手厚いサポートがないので、自分からメモをとり、仕事を把握しなければならないこと、作業終了報告、次の作業の指示を仰ぐ必要があることを身を持って学べたと思う。（20代／施設職員）
- ・普段は時間で作業を区切ってしまいが、今回は決められた仕事を最後まで行うことで終了になったので、やり終えた達成感を味わえたと思う。（50代／施設職員）



8月31日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、8月31日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ7人（体験者：4人、施設職員：3人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年8月31日(水)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：7人（体験者：4人、施設職員：3人）

体験者属性：精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

業務内容：スタジアム内の手すりの消毒

スタンド内でのお客様のゴミ回収

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
Enn-Lab.Collage Kawasaki）

会場来場者数：13,923人

体験者／支援者感想

- ・参加するのが習慣になりつつある。スピーディーに丁寧に心をかけた。仕事は助け合いながら、声をかけ合いながらすることを学んだ。（30代／ひきこもりの方）
- ・社会活動に参加するため参加した。外出の大切さを感じた。体調管理を気をつけるようになった。（30代／ひきこもりの方）
- ・フロンターレに関係していたのと就労体験をして将来のイメージができると思ったから参加した。コミュニケーション。清掃の大変さ、ゴミ回収の配慮。あいさつ。報連相をたくさんする。好きなものを通して働くと気持ち、テンションが上がる。（10代／発達障害者）
- ・社会参加により、外の世界に慣れてもらうため参加した。人との接し方、自分の働き方、体力を学んだと思う。（50代／施設職員）
- ・日常生活の範囲から離れ、一般の人がいる場所での振る舞いを自ずと考える機会になっている。（40代／施設職員）
- ・就労など将来のイメージがつきづらい方なので、興味のあることから“働く”について考えるいい機会になると思ったため参加した。“働く”のイメージが今までより具体的になったと感じる。あいさつなどのできている強みの部分の再確認に繋がり、また実践でしかわからない「ベース配分の把握」や「焦ってしまう」などの課題が見つかり、自己理解が深まった。機会があればまたぜひ体験に参加させたい。（20代／施設職員）



9月10日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、9月10日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ5人（体験者：3人、施設職員：2人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年9月10日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：5人（体験者：3人、施設職員：2人）

体験者属性：精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

業務内容：スタジアム内の手すりの消毒
スタンド内でのお客様のゴミ回収

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎）

会場来場者数：13,923人

体験者／支援者感想

- ・時間配分と休憩時間を考えることを学んだ。もう少しコミュニケーションをとるようにしようと思った。（30代／障害者手帳は所持していない方）
- ・チームワーク、体を動かす働き方への学びがあったと思った。（20代女性／施設職員）
- ・対面での緊張があるため、人に慣れてほしいと思い参加した。就労体験を通して、利用者さんの就労に対する意欲を感じ取れた。当事者の方とコミュニケーションをとりながら、分かち合えてよかった。（40代女性／施設職員）

ボランティア感想

・（文面で書くとはずごく語弊がありそうではあるが…）体験に参加される方々ははずごく「普通の人」に思えた。自分からすると「普通の人」に見える方々も、実際に就労し継続的に仕事をすると様々な難しさがあるのだろうと思った。社会、個人のそれぞれに、どのような難しさがあるのかをもっと知りたいと思った。（20代／会社員の方）



10月8日、12日、29日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、10月7日、12日、29日に実施。市内のひきこもりの方々、述べ5人（体験者：3人、施設職員：2人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年10月8日(土)、12日(水)、29日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：22人（体験者：11人、施設職員：6人、企業研修：5人）

体験者属性：精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアの方：0人

**業務内容：スタジアム内の手すりの消毒
スタンド内でのお客様のゴミ回収**

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎）

会場来場者数：19,022人(10/8)14,445(10/12)22110(10/29)

体験者／支援者感想

- ・他の事業所から参加されている方と一緒に仕事をする中で、仕事のスピードを合わせる必要と学べた。（30代／障害者手帳は所持していない方）
- ・チームワーク、体を動かす働き方への学びがあったと思った。（20代女性／施設職員）
- ・対面での緊張があるため、人に慣れてほしいと思い参加した。就労体験を通して、利用者さんの就労に対する意欲を感じ取れた。当事者の方とコミュニケーションをとりながら、分かち合えてよかった。（40代女性／施設職員）



10月21日、22日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、10月21日、22日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ17人（体験者：12人、施設職員：5人、見学者：0人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年10月21日(金)、22日(土)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：17人（体験者：12人、施設職員：5人、見学者：0人）

体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：アリーナ周辺の装飾やお客様待機列のテープ貼り、会場内座席の消毒、VIPルームの設営サポート、選手ロッカールームやベンチの消毒作業、来場者への配布支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：5事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園、
自立訓練（生活訓練）Job Support Bluebee、
社会福祉法人川崎市社会福祉実業団KFJ多摩はなみずき、
株式会社Cocorport Cocorport武蔵小杉office）

会場来場者数：3,374人

体験者／支援者感想

- ・お客様に積極的にお声がけすることができた。挨拶や声出しの大切さを学べた気がする。（20代／知的障害者の方）
- ・お客様が気持ちよく来られるように意識した。いつもより声出しを頑張った。（20代／発達障害者の方）
- ・自分の働いているイメージがいたり、挨拶の大切さを学ぶきっかけになっている。（施設職員）



10月23日 CLEANUP INTERNATIONAL presents 日高祭25就労体験

CLUB CITTA'で開催されたプロレスイベント「日高祭25」にて「就労体験」を実施。市内のひきこもりの方々、述べ5人（体験者：3人、施設職員：2人）が参加し、スタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年10月23日(日)

会場：CLUB CITTA'

参加人数：5人（体験者：3人、施設職員：2人）

体験者属性：知的障害者

業務内容：座席番号表の設置

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社ションキャプチャー

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

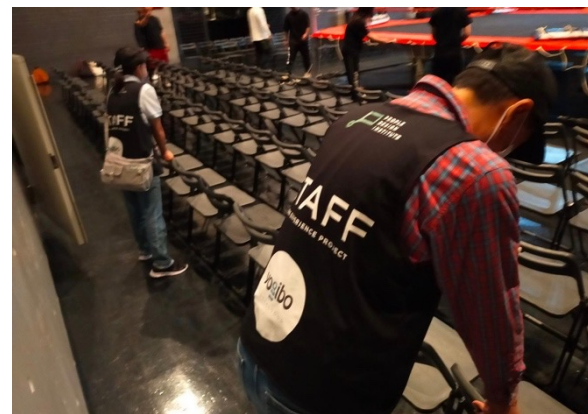
参加事業所：1事業所

（KFJ多摩はなみずき）

会場来場者数：不明

体験者／支援者感想

- ・自分で学んだことが行うことができた。（40代／知的障害者）
- ・これからも就労体験をしたいと思った。（40代／知的障害者）
- ・近くで音楽が流れていたり、声が聞き取りにくい状況でも、普段と変わらず、周りを見て行動することができていた（40代／施設職員）



11月30日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、11月30日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ15人（体験者：11人、施設職員：4人、見学者：0人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年11月30日(水)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：15人（体験者：11人、施設職員：4人、見学者：0人）

体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：アリーナ周辺の装飾やお客様待機列のテープ貼り、会場内座席の消毒、VIPルームの設営サポート、選手ロッカールームやベンチの消毒作業

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：4事業所

- （川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
- 社会福祉法人育桜会しらかし園、
- 社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ、
- 一般社団法人ルミノーズ ルミノーズ川崎登戸）

会場来場者数：4,619人



12月5日、16日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、12月5日、16日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ21人（体験者：12人、施設職員：9人、見学者：0人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2022年12月5日(月)、16日(金)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：21人（体験者：12人、施設職員：9人、見学者：0人）

体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：アリーナ周辺の装飾やお客様待機列のテープ貼り、会場内座席の消毒、VIPルームの設営サポート、座席カバー掛け、バナー取付、サインボード組み立て、選手ロッカールームやベンチの消毒作業、ドリンクホルダー破損チェック

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

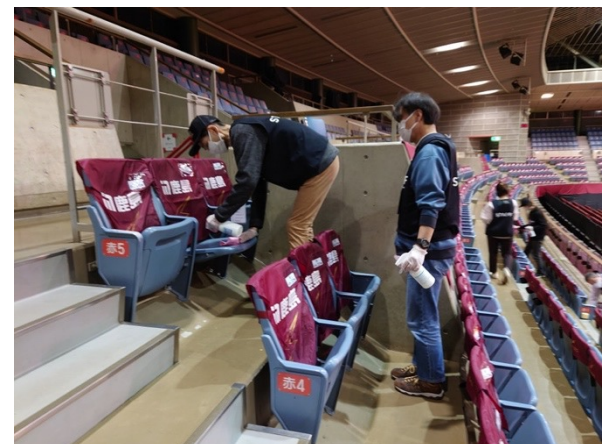
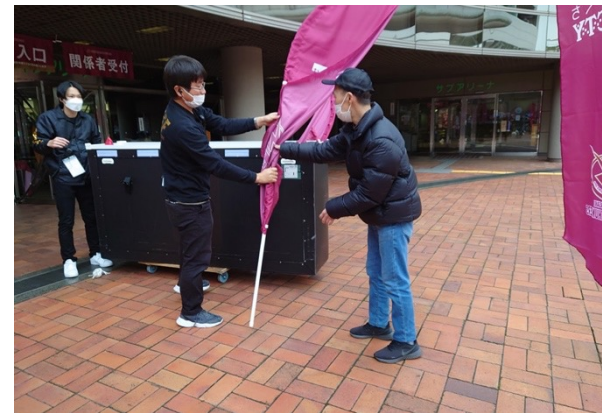
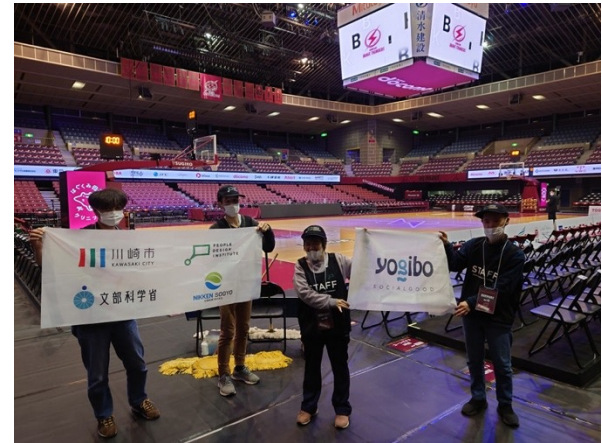
業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：4事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人川崎市社会福祉事業団川崎市ふじみ園、
株式会社Enn-Lab.自立訓練事業所エンラボカレッジ川崎、
社会福祉法人三篠会川崎ラクシル 南部日中活動センター）

会場来場者数：8,111人（12/5 3,954人、12/16 4,157人）



1月18日、21日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、1月18日、21日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ22人（体験者15人、施設職員：7人、見学者：0人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2023年1月18日(水)、21日(土)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：22人（体験者：15人、施設職員：7人、見学者：0人）
体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：2人

業務内容：会場設営（座席カバー掛け、バナー取付、サインボード組み立て）、アリーナ内外の清掃・消毒、選手ロッカールームの消毒、座席番号カードの並べ替え

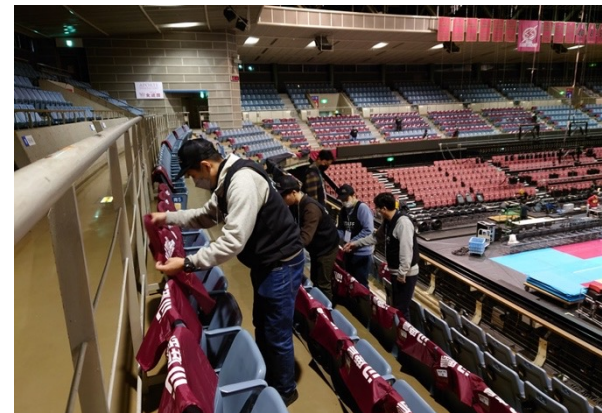
支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：5事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園、
社会福祉法人育桜福祉会 わかたけ作業所、
川崎市若者就労・生活自立支援センターブリュッケ、
自立訓練（生活訓練）Job Support Bluebee）

会場来場者数：8,163人（1/18 3,281人、1/21 4,882人）



2月9日、10日、11日、 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、2月9日、10日、11日にバスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ23人（体験者：15人、施設職員：8人、見学者：0人）が参加し、川崎ブレイブサンダースのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2023年2月9日(木)、10日(金)、11日(土)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：23人（体験者：15人、施設職員：8人、見学者：0人）
体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人

業務内容：会場設営（座席カバー掛け、バナー取付、サインボード組み立て）、アリーナ内外の清掃・消毒、選手ロッカールームの消毒、座席番号カードの並べ替え、来場者へのビラ配布

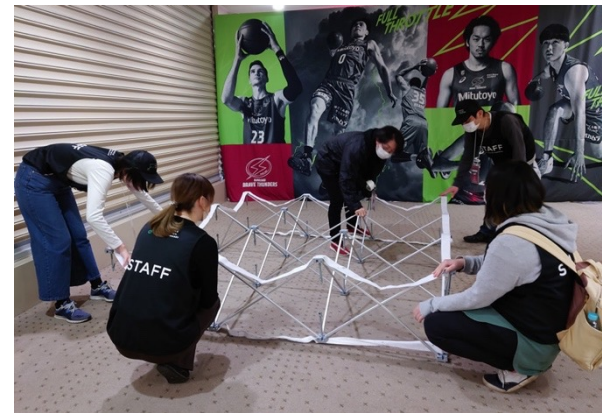
支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：6事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人川崎市社会福祉事業団川崎市ふじみ園、
ウェルビー株式会社ウェルビー溝口駅前センター、
医療法人社団聖眞会きしろメンタルクリニックショートステイぶどうの樹、
社会福祉法人育桜福祉会しらかし園、
株式会社Enn-Lab. 自立訓練事業所エンラボカレッジ川崎）

会場来場者数：11,378人（2/10 3,935人、2/11 7,443人）



2月17日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグ川崎フロンターレのホームゲームにて、2月17日にサッカーボールファンをもてなす「就労体験」を実施。
今回は同市内知的・発達・精神障害者、引きこもりの方々、述べ2人（体験者：1人、施設職員：1人）が参加し、川崎フロンターレのスタッフの一員としてお仕事を担っていただいた。

実施日：2023年2月17日(金)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：2人（体験者：1人、施設職員：1人）

**体験者属性：知的・発達・精神障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人**

業務内容：座席や会場内の消毒、ゴミ回収

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（社会福祉法人育桜福祉会 しらかし園）

会場来場者数：22,563人

